

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～第13回

1. 実施日

令和3年11月27日（土）1・2限

2. 場所

331、332、333、334 教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川和余 佐々木啓成 中澤知里 宮崎雄史郎

5. 内容

1限：ポスターセッション（課題研究中間発表）振り返り

TA及び参観者による評価票及び生徒による評価票を見ながら、ポスターセッションを振り返り、ポスターに修正すべき点や今後調査すべき点を書き込む（前回の続き）。TAや参観者による記述内容をもとに、修正すべき点や質疑応答で回答できなかった点等を、これまで調べた内容から導き出せないか見直したり、追加で調査したりする。また、「3. 掘り下げるためのRQ①～⑥」と「4. 現時点での仮説」との関連性に留意し、①～⑥の配列も見直し、論じ方を検討する。

2限：「研究報告書」Ver.3＝「研究ノート」に向けた研究概要 作成

1限の振り返りをもとに、研究グループでの役割分担を明確にし、「研究報告書」Ver.3を作成する。なお、この「研究報告書」Ver.3は、「研究ノート」（日本語論文）に向けた研究概要であり、次年度大学入試で課題研究の概要を添付する際にも使用するものであることを踏まえる。

（次回12月11日（土）までに「研究報告書」Ver.3を完成させる）

6. 学び

「研究報告書」Ver.3の作成を進め、これまでの研究概要をまとめ、役割分担を明確にし、研究グループの協働による「研究ノート」作成につなげる。

7. 次回への課題

「研究報告書」Ver.3の作成をとおして、これまでの研究概要をまとめ、明確にした役割分担に基づき、計画的に「研究ノート」の作成を進められるよう準備する。また、根拠となる図表等の作成のために、資料収集や各自のRQに関わる追加調査を行う。

8. 本時の振り返り

1限目は、前時で実施したポスターセッション（課題研究中間発表）の振り返りを行った。本校卒業生、参観者、生徒同士による評価票を見ながら、ポスターセッションを振り返り、ポスターに修正すべき点や今後調査すべき点を書き込ませた。2限目は、1限目で振り返りをした点を踏まえて、「研究報告書 Ver.3」の作成を始めた。これは今後作成する「研究ノート」（日本語論文）に向けた研究概要となる。本日もグループ内で積極的な話し合いが行われていた。